

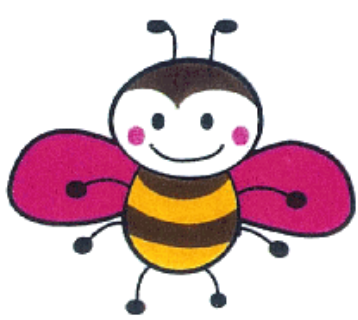
運賃は100~200円!

地域のみなさまが利用しやすいように、市役所、鉄道駅、病院、市民センター、ショッピングセンターなどを循環します。

- … はちバス独自のバス停
- … 一般路線バスのバス停と共用
- … 一般路線バスとの乗り継ぎ情報

はちバス

西部コースまっぷ



沿線の見どころ案内①

★【安養寺】
室町時代初期に創建され、境内には「塩野倉之助」の碑があります。春はツツジ、秋は紅葉が見どころで、鐘つき堂も趣があります。(バス停2番「安養寺」前)

★【北浅川】
急流を緩和するための長大な三段の堰と荒々しい岩場の景観は圧巻です。川沿いにメタセコイアの化石など古い地層が見られます。周辺の河川敷は、夏場は草が生茂るため、訪れるには春や秋が適しています。(バス停15番「元八王子市民センター」から徒歩5分ほど)

★【諏訪神社】
江戸時代初期の創建。毎年8月26・27日には「お諏訪様の祭り」として親しまれている「まんじゅう祭り」が行われ、多くの人で賑わいます。祭り当日は、市の文化財である獅子舞、四谷の龍頭舞(りゅうずまい)が奉納されます。(バス停19番「諏訪神社」前)

バスのすぐ前や後ろからの横断は大変危険です。横断歩道を渡りましょう。

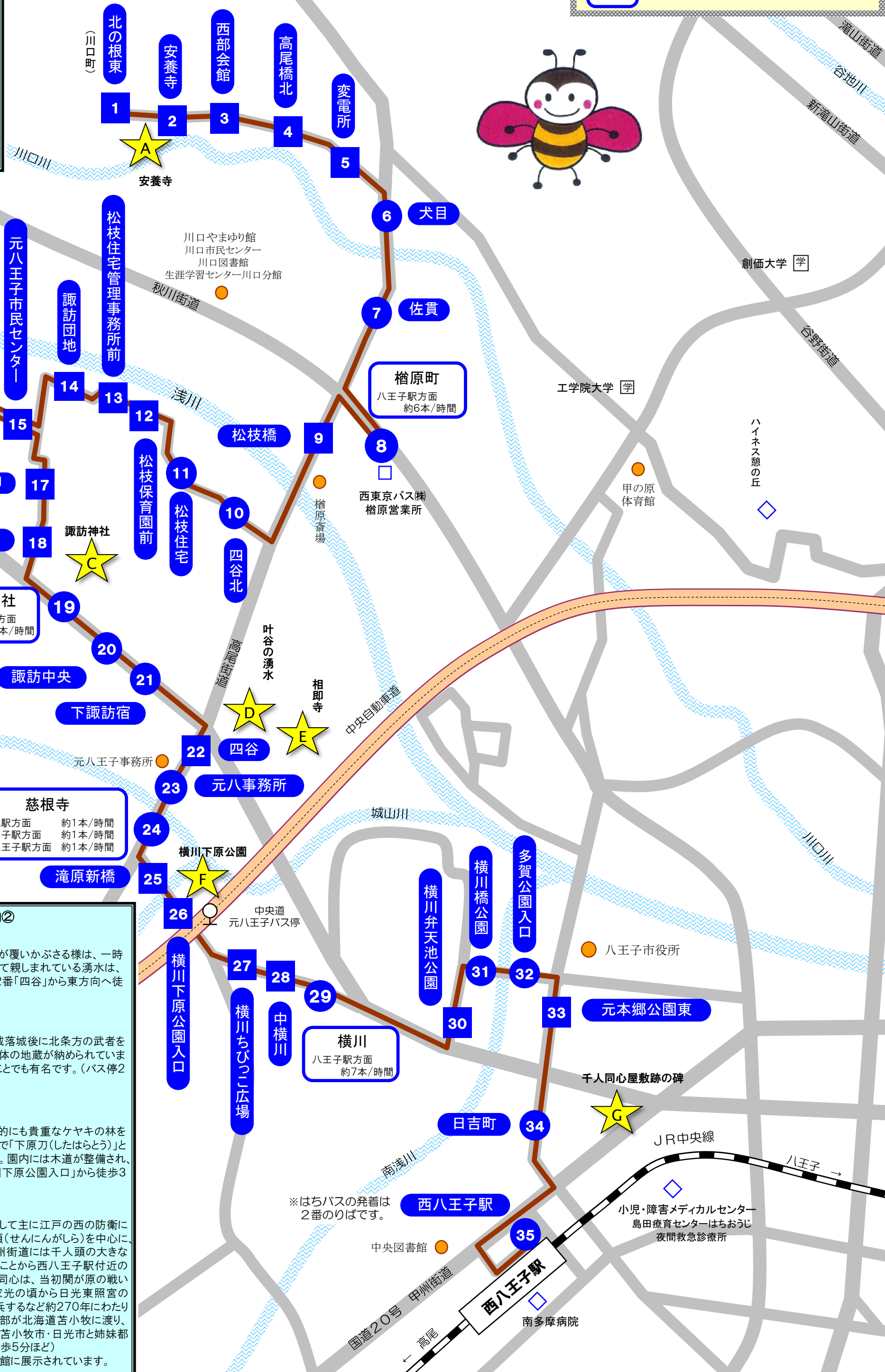
沿線の見どころ案内②

★【叶谷の湧水】
ゆったりと流れる湧水の上に榎(えのき)の大木が覆いかぶさる様は、一時代前の風情を感じさせます。地域のオアシスとして親しまれている湧水は、「東京の名湧水」にも選ばれています。(バス停22番「四谷」から東方向へ徒歩10分ほど)

★【相即寺】
室町時代後期の創建。山門左手には八王子城落城後に北条方の武者を供養した地蔵堂(年3回一般公開)があり、153体の地蔵が納められています。戦争の悲話を伝えるランドセル地蔵があることでも有名です。(バス停22番「四谷」から東方向へ徒歩10分ほど)

★【横川下原公園】
古いものは樹齢100年以上と言われる、全国的にも貴重なケヤキの林を保存した公園です。公園の名称は、かつてこの地で「下原刀(したはらとう)」という刀が製造されていたことから名づけられました。園内には木道が整備され、散策を楽しむことができます。(バス停26番「横川下原公園入口」から徒歩3分ほど)

★【千人同心屋敷跡の碑】
八王子千人同心は、徳川家の家臣団の一つとして主に江戸の西の防衛にあたるために組織され、旗本である十人の千人頭(せんにながしら)を中心に、総勢1000人で構成されていました。当時の甲州街道には千人頭の大きな屋敷と100戸程の同心の屋敷が立ち並んでいたことから西八王子駅付近のこのあたりは「千人町」と名づけられました。千人同心は、当初関が原の戦いや大坂の陣に参戦しましたが、三代将軍徳川家光の頃から日光東照宮の「火の番役」も担うようになり、幕末には長州に出兵するなど約270年にわたり活躍しました。江戸時代後期には千人同心の一部が北海道苦小牧に渡り、北海道開拓の祖ともなりました。こうした縁により、苦小牧市・日光市と姉妹都市になっています。(バス停34番「日吉町」から徒歩5分ほど)
*千人同心に関する資料は、上野町の郷土資料館に展示されています。



*はちバスの発着は2番のりばです。